

センターだより

第81号

令和7年4月25日発行

所長あいさつ「子どもの成長を支える伴走者として」 所長 長内 修吾

今年度から「全国教員研修プラットフォーム」の運用が始まりました。学校側も含めて受講申込や履歴をオンラインで一括管理できるようになります。新システムの運用に際しては、慣れるまでご不便をおかけすることと思います。また、遠隔教育システムの整備にも着手し、教育支援の一層充実に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

春の訪れとともに、新年度がスタートしました。登校する児童・生徒の表情を気かけながら、「学校が、すべての子どもにとって毎日通いたい場所になっているだろうか」と思いを巡らせています。私たち教員は、常にこの問いと向き合いながら、子どもたちの学びと育ちを支えてきました。

私自身の経験から、子どもたちとの出会いが、教師にとってもかけがえのない学びになることを改めて実感しています。学校勤務当時、図書委員の女子生徒と本の紹介について語り合った際、偶然にも同じ本を読んでいたことをきっかけに対話が深まりました。その本は、女性学で著名な上野千鶴子さん（東京大学名誉教授）の『女の子はどう生きるか』（岩波ジュニア新書）です。上野さんは、吉野源三郎氏のベストセラー『君たちはどう生きるか』が、男の子を主役に描いていることに疑問を抱き、「女の子がどうやって人生の主役として生きていくのか」を書いたと熱意を語っています。

その本の前書きに、ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんの父親の言葉が紹介されています。理不尽な暴力を受けながらも、女子教育の必要性と平和を訴え続けたマララさん。「こんなに勇気のある娘さんをどうやって育てたのですか？」と問われたお父さんは、「娘の翼を折らないようにしただけです」と答えたそうです。上野さんはこの言葉に深く共鳴し、「女の子も男の子も学びたい、成長したいという意欲、つまり翼を持っている。その子が最初から持っている自分からはばたこうする力を妨げないこと」と説いています。

私たちは、子どものために思い、さまざまな手助けをしようとしています。しかし、その思いやりが「転ばぬ先の杖」となり、かえって子どもの挑戦や自立の芽を摘んでしまっていないでしょうか。子どもが希望をもって自分らしく生きていくために、私たちはどのように支援し、どのように見守るべきか。そのことを考究し続ける姿勢が大切です。

昨年度末に改訂された青森県教育施策の大綱では、本県教育の方向性とともに、具体的な取組も示されました。その根幹にあるのが、「こどもまんなか青森」の理念です。子どもたちが安心して“自らの翼”ではばたくことができるよう、私たち教育に携わるすべての人が、それぞれの立場から子どもの成長を支える“伴走者”になること。そうした一步一步が、「毎日通いたい学校」づくりにつながるものと信じています。

センター事業（研修、研究、教育相談）の紹介

「“新しい時代に必要となる資質・能力”を育む“教師力”の向上」を目指して

研修

職務研修、教科研修、教科外研修講座等、多数の研修講座を開設します。タブレットPCを扱う講座、聴講可能な講座等もあります。

研究

研究員研究、センター研究など、実践的・先導的な研究をし、学校現場へ還元します。また、これらの成果を「あおもり教育研究発表会」や当センターWebページ等で発表及び提供します。

教育相談

いじめや不登校に関すること、学習のつまずきや遅れに関すること等、本人・保護者・教職員のどなたでも相談できます。



青森県総合学校教育センター
イメージキャラクター

アプセくん

研修講座について

青森県総合学校教育センターでは

テーマ「“新しい時代に必要となる資質・能力”を育む“教師力”の向上」を目指し、次のように研修講座を開催します。

- 1 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指し、実践することをゴールに見据えた研修を提供します。
- 2 令和の日本型学校教育を担う「新たな教師の学びの姿」の実現を目指し、演習・協議等を重視した研修を提供します。
- 3 学校、先生方の課題や悩みに寄り添い、その実践と意欲をサポートします。



「令和7年度研修講座案内」の表紙のイラストです。（当センターHPに掲載）

中央で育つ花は子どもたち、花が育つ場は学校です。それらを取り囲む教師集団は、互いに連携・協働しながら教育活動に取り組んでいます。また、暖かな色合いで学校を包み込んでいるのは県総合学校教育センター等の関係機関や家庭・地域社会で、教育活動を支える様子を表しています。

舞い上がる花の色は、学校教育全体を通して育成される新しい時代に求められる資質・能力を表し、舞い上がる花は、子どもたちが自立し社会参加へ向かう様子を表しています。



青森県総合学校教育センター
Aomori Prefectural School Education Center

〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田 80-2
☎ 017-764-1997 / FAX 017-728-6351

今年度から、次の2点が変更になりました。

「研修講座 申込み方法」

- ・「Plant 全国教員研修プラットフォーム」での研修申込みがスタートしました。
- ・操作に関するQ&Aも掲載しています。
- ・詳しくは「研修講座案内」をご覧ください。

「受講者旅行 報告書」

- ・小・中学校は、「受講者旅行報告書(Excel)」をダウンロードし、メールで送信してください。
- ・県立学校は、「【県立学校用】受講者旅行報告書提出フォーム(Google Forms)」から提出してください。

※受講申込みは講座開始日の4週間前までとなっております。

センターセミナーⅠ

不登校児童生徒への支援

講 師:FR教育臨床研究所 所長 花輪 敏男 氏

日 時:7月26日(土)9:30~15:30

場 所:青森県総合学校教育センター



不登校対応の第一人者である花輪敏男氏を講師にお迎えし、これまでの経験を踏まえ教師や家族の具体的な対応をまとめた「FR式不登校対応チャート」を中心に、講義をしていただきます。長時間、花輪先生のお話を聞く機会は、なかなかございませんし、不登校に対する考え方も変わり、相手の立場を考えた対応の仕方等、不登校対応に関心のある方にとっては、実り多い時間となること間違いありません。

申込期間:5月7日(水)~7月11日(金)

下記のURLまたは右の二次元コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/LcEBULhvXciPrv5i9>

【担当課】教育相談課 TEL:017-764-1990



センターセミナーⅡ

もっと聞きたい!授業のユニバーサルデザイン Vol.3 ~あらためて「焦点化」を考える~

講 師:星槎大学大学院 教授 阿部 利彦 氏

日 時:8月23日(土)9:30~12:00

場 所:青森県総合学校教育センター



大好評につき、今年は「焦点化」をテーマにセミナーを開催いたします。授業のねらいや活動を絞り込みシンプルな授業づくりをめざす「焦点化」のプロセスについて、具体例や実践的なテクニックを交えてお伝えします。インクルーシブな学校教育に必須のスキルを学び、明日からの授業改善につなげたいという思いを抱いている先生方、ぜひ、阿部先生とともに、「焦点化」について考えてみませんか?

申込期間:5月7日(水)~8月8日(金)

下記のURLまたは右の二次元コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/fmuN6jh8HKAXCdWN8>

【担当課】特別支援教育課 TEL:017-764-1993



校内研修等講師派遣事業、教科指導等サポート事業の紹介

校内研修等派遣事業について

学校が抱える教育課題等の解決に向けて、教員の資質・能力の向上を目指して行う校内研修等に講師として指導主事を派遣し、研修の活性化を図るとともに教育活動を支援する事業です。

テーマは、「**学習指導**」、「**生徒指導・教育相談**」、「**特別支援教育**」となっており、実施方法は「対面」または「オンライン」から選択できます。昨年度は180件以上お申込みいただきました。詳細につきましては、当センターWebページ「学校サポート」内の要項・リーフレットをご覧ください。

教科指導等サポート事業について

県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校の教員から寄せられる教科指導等の質問に対して的確な情報を提供し、サポートする事業です。以下の質問に対し、情報を提供します。

教 科：**教科・科目等**に関わること

教科外：**総合的な学習（探究）の時間、特別活動、キャリア教育、自立活動等**に関わること

質問入力フォームに質問を入力していただきますと、1～2週間程度で担当の指導主事が電話、電子メール、オンライン等で回答いたします。詳細につきましては、当センターWebページ「学校サポート」内の要項・リーフレットをご覧ください。

当センターWebページの「学校サポート」から、
それぞれお申込みすることができます。

<https://www.edu-c.pref.aomori.jp/>



図書資料室の紹介

県内の教職員や当センター研修講座の受講者を対象に、図書の貸出しを行っています。

貸出期間 : 2週間以内
貸出冊数 : 5冊まで

昨年度の貸出し件数は、のべ**1,015**件でした。7月末から8月上旬にかけて、1回目の**新着図書のご案内**をさせていただく予定です。

今年度も多くの皆様にご利用いただけるように準備しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



教育相談について

当センターでは、県民の皆様や学校教職員のニーズに応える目的で、来所や電話等による教育相談を行っています。

まずは**電話**で相談

相談内容の確認、相談方法・日程の調整をします。子ども本人、保護者、教職員の皆様の相談に応じます。電話のみの相談にも応じます。まずはお電話を！

相談申込・お問い合わせ

☎ 017-728-5575 (教育相談課)

☎ 017-764-1991 (特別支援教育課)

実施時間 9:00～17:00

(土日、祝日、年末年始は除く)

※月に1回土曜日に相談を行っています。

詳しい開催日については、センターWebページでご確認ください。



お子様の健やかな成長を願って
私たちと一緒に考えましょう